4403008011

Crops cycle computer CP-F1006

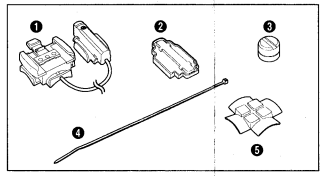
サイクルコンピューター
CP-F1006
取扱説明書

お使いの前にこの説明書を最後までよくお読みください。

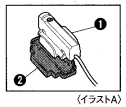
※この製品の機能をよく理解された上でご愛用ください。
この説明書はお読みになった後も捨てずに、いつでも見られる状態で保管願います。
※製品についてのお問合せ：Tel.03-5724-5951

自転車への取付け
コンピューター以外に次の部品が付属しています。すべてそろっているか取付け前にご確認ください。

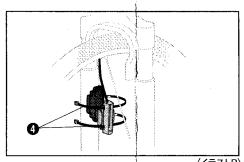
❶ブラケットセンサー
❷センサー用ゴム台座
❸スーパーマグネット
❹ナイロンタイ（9本）
❺ブラケット用台座



●ブラケットセンサー①の取付け

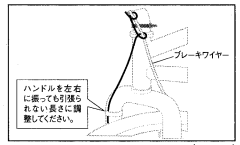

〈イラストA〉

●センサー部の取付け
センサー部分❶にセンサー用ゴム座❷を当てます。〈イラストA〉


〈イラストB〉

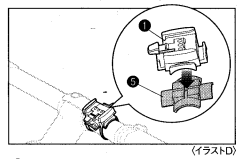
フロントフォークに先ほどのセンサー部をナイロンタイ❹で固定してください。〈イラストB〉

重要 ナイロンタイ❹で最初はゆるめに取付け、位置を決めてから最後にしっかりと固定してください。あまり強く締め付けると断線の原因となりますのでご注意ください。

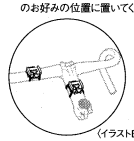

〈イラストC〉

ナイロンタイ固定完了後ブレーキワイヤーに巻きつけながらハンドルバーまたは、ハンドルステムまでコードをもっていきます。ハンドルを左右に回した時にコードが引張られないように調整してください。〈イラストC〉

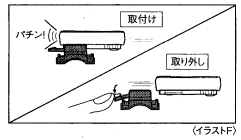
●ブラケット部の取付け
このブラケットはハンドルバー及びハンドルステムに取付けることが出来ます。
ブラケット部にブラケット台座❺をセットしてください。〈イラストD〉


〈イラストD〉

ブラケットをハンドルバーまたは、ハンドルステムのお好みの位置に置いてください。〈イラストE〉

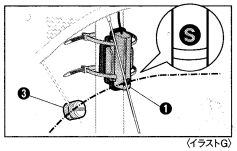

〈イラストE〉

重要 ナイロンタイ❹で最初はゆるめに取付け、位置を決めてから最後にしっかりと固定してください。

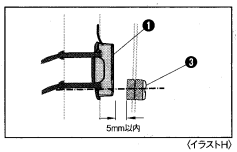

〈イラストF〉

ブラケットにコンピューターをパチンとする所までスライドさせてください。
コンピューターを外す時は解除レバーを押し下げコンピューターを取り外してください。
〈イラストF〉

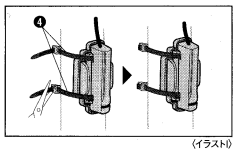
●スーパーマグネットの取付け


〈イラストG〉

1、前輪スポークにスーパーマグネット❸をマグネット面がセンサー❶に対面するように取付けます。
但しスーパーマグネット❸がセンサー❶の（Ⓢ）マーク部を通る様に調整しながら取付けてください。〈イラストG〉
※このスーパーマグネット❸はフラットスポーク及び円形スポークに対応しております。


〈イラストH〉

2、スーパーマグネット❸とセンサー❶の隙間が5mm以内になる様に調整してください。隙間が広い場合はセンサー❶を内側に向けるなど角度を変えて調整してください。〈イラストH〉
3、取付け場所を決め、しっかりとスーパーマグネット❸を固定してください。


〈イラストI〉

●動作テスト
1、前輪を軽く回し、コンピューターに速度表示するかご確認ください。
2、速度表示の確認が出来れば、ナイロンタイ❹全ての余分な部分を切り落としてください。切口でケガをしないようご注意ください。〈イラストI〉
3、速度表示が出ない場合は、再度取付けの確認を行ってください。

警告
・走行中はコンピューターに気を取られないで、安全走行を心掛けてください。
・マグネット・センサー・ブラケットはしっかりと自転車に取付け、定期的にガタや緩みが無いか点検してください。
・使用済みの電池は誤って飲み込まないように管理し、定められた方法で処理してください。

注意
・炎天下の放置は避けてください。また、コンピューターは分解しないでください。
・コンピューターや付属品を拭くときにシンナー、ベンジン、アルコール等は表面を傷めますので使わないでください。

設定操作

数字の選択
モードボタンⓂを押して選択します。

次の数字に移動する
モードボタンⓂを2秒間押します。

次の機能に移動する
セットボタンⓈを押します。

設定モードを終了する
セットボタンⓈを2秒間押します。

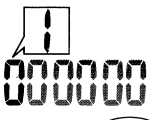
基本操作

画面の変更
モードボタンⓂを押して画面を変更します。

データのリセット
モードボタンⓂを3秒間押します。
(DST, CAL)
※詳しくは裏面の7リセット操作をご参照ください。

データの再設定をする
セットボタンⓈを押すと設定モードになります。
※詳しくは裏面の5セットボタンと操作(・データの再設定)をご参照ください。

基本操作：数値の入力と桁移動の方法

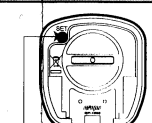


Ⓜ 1回押す

モードボタンⓂを1回押すと、数値が変わります。

Ⓜ 2秒

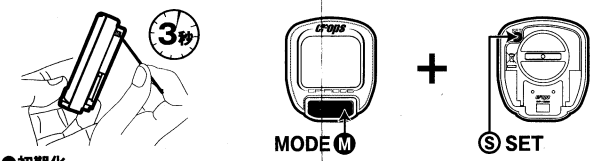
モードボタンⓂを2秒押すと、桁を移動できます。



Ⓢ OK!

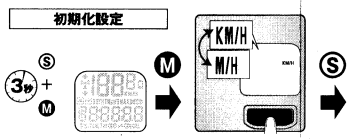
セットボタンⓈを押すと設定終了です。

注意：初めてコンピューターを使う前には必ず初期化設定を行なってください。



●初期化
1 本体には電池があらかじめ装備されています。
2 モードボタンⓂを押しながらセットボタンⓈを3秒以上押すと初期化設定されコンピューターのデータが全て消去されます。
3 初期化されると自動でLCDテストが開始されます。
4 モードボタンⓂもしくはセットボタンⓈを押すとLCDテストが止まり、"KM/H"の表示がでます。
（1「速度単位の選択」へおすすみください。）

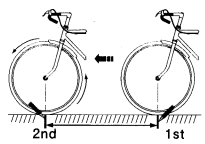
1 速度単位の選択



初期化設定終了後、モードボタンⓂを押しKM/HもしくはM/Hを選択ください。
選択後にセットボタンⓈを押し確定します。

2 タイヤ周長設定

測定位置



タイヤ周長換算表

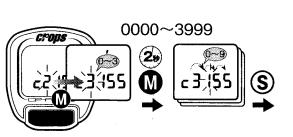
タイヤサイズ	タイヤ周長サイズ (mm)	タイヤサイズ	タイヤ周長サイズ (mm)
18 Inch	1436	700C Tubular	2117
20 Inch	1596	700x20C	2092
22 Inch	1759	700x23C	2112
24x1.75	1888	700x25C	2124
24 Inch	1916	700x28C	2136
24x 1 3/8	1942	700x32C	2155
26x1.40	1995	700x35C	2164
26x1.50	2030	700x38C	2174
26x1.75	2045	27.5 Inch	2193
26x1.95	2099	28 Inch (700B)	2234
26x2.1	2133	28.6 Inch	2281

1
バルブの位置がもっとも地面に近くなるよう車輪を回し、そのポイントに印をつけます。

2
自転車に乗り、バルブの位置が再び地面に近くなる所に来るよう進め、タイヤが一周回ったところに印をつけます。（体重によってホイール円周がわずかに変わることがありますので自転車に座ることによってより正確に測ることができます。）

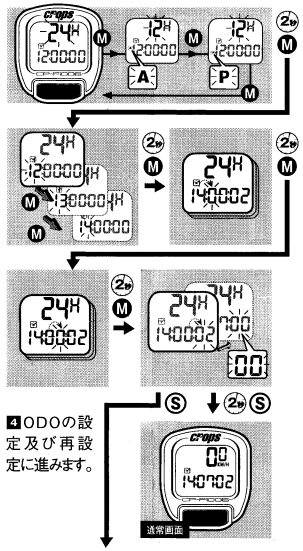
3
印をつけた2か所の距離をミリメーターで測ります。測った数値をタイヤ周長の設定に入力します。左の表から適切な円周値を見つけることもできます。
（タイヤ周長換算表参照）

4
タイヤ周長が決まればモードボタンⓂで設定を行ないます。



5
初めに千単位から設定を行ないます。数値を入力後2秒間モードボタンⓂを押すと百の単位に移ります。（以後繰り返し）
6
全てのホイールサイズを入力後セットボタンⓈを押してください。時計の設定に移ります。

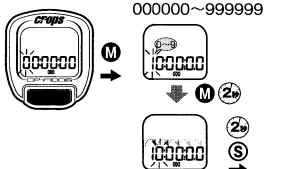
3 時計の設定



1
モードボタンⓂを押し12時間制もしくは24時間制を選択します。
2
12時間制を選択した場合、午前（A）、午後（P）のいずれかを選択してください。（24時間制→12時間制（A）→12時間制（P）のローテンションで選択）
3
12時間制もしくは24時間制が決定すれば2秒間モードボタンⓂを押してください。
4
時間設定に移ります。設定手順は左記イラストをご参照いただき入力を行なってください。
5
●初めてご使用の方で積算距離を入力する必要がない方
セットボタンⓈを2秒間押してください。
設定完了となり通常画面に戻ります。

●積算距離を入力する必要がある方
セットボタンⓈを押してください。積算距離設定に移ります。

4 ODOの設定及び再設定：積算距離設定及び再設定



積算距離を入力される場合は、左記イラストをご参照ください。
全ての積算距離を入力後セットボタンⓈを2秒間押してください。
設定完了となり通常画面に戻ります。